

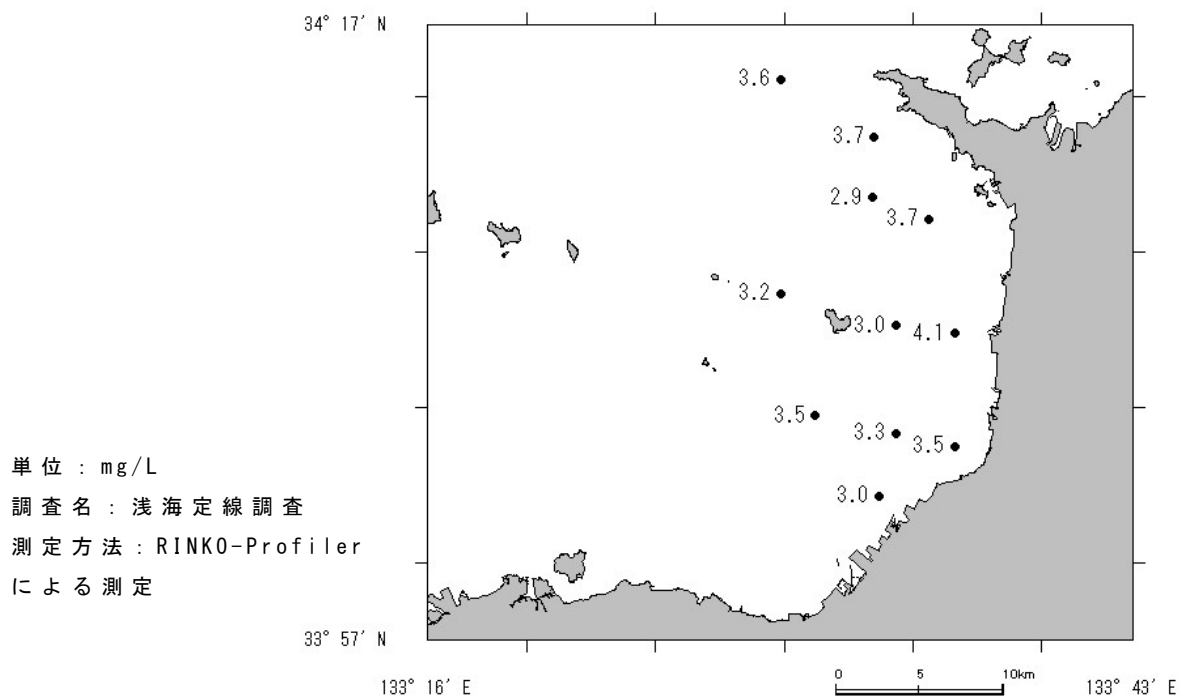
令和 4 年 7 月 1 9 日

燧灘貧酸素情報（第 2 号）

香川県水産試験場

7 月 1 5 日観測結果

7 月 15 日現在，燧灘底層の溶存酸素量は 7 月 5 日の観測時よりも減少している点が多く，底層に生息する生物の生息環境はさらに悪化してきています。前回よりも岸寄りに増設した測点でも，溶存酸素量は少なめとなっています。ただし，昨年度はこの時期に既に 2 mg/L を切る測点が複数みられており，昨年度に比べるとまだ酸素がある状況です（次回 8 月上旬観測予定）。



底層の溶存酸素量

溶存酸素量（DO）の目安*

溶存酸素量	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。